

キリングループ° 2020年11月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングループの11月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、市場が対前年 89%程度と推定される中、当社は 96%となった。
- ビール計は、市場が対前年 86%程度と推定される中、当社は 94%となった。
 - ・10月に発売した「一番搾り 糖質ゼロ」は引き続き好調に推移し、11月末までに125万ケース[※]を突破した。上方修正した年間販売目標の約160万ケース（当初予定の約3割増）を年内中に達成見込み。 ※大びん換算
 - ・酒税改正によってビールカテゴリーに注目が集まったことに加え、「一番搾り 糖質ゼロ」の発売もあり、「一番搾りブランド」計は102%、「一番搾りブランド」缶計では139%となった。
- 発泡酒計は、市場が対前年 101%程度と推定される中、当社は 102%となった。
- 新ジャンル計は、市場が対前年 89%程度と推定される中、当社は 94%となった。

カテゴリー	前年比
ビール類計	96%
ビール計	94%
発泡酒計	102%
新ジャンル計	94%
RTD計	111%

2. メルシャン社

- 「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」などの国内製造ワインが好調に推移し、ワイン合計は対前年 105%となった。
- 「シャトー・メルシャン」は、販売店の増加など、家庭用が好調。対前年 167%と大幅増となった。

カテゴリー	前年比
ワイン合計	105%
国内製造ワイン計	119%
輸入ワイン計	93%

3. キリンビバレッジ社

- 生茶は、9月発売の「生茶 ほうじ煎茶」の好調が寄与し、対前年 105%となった。
- プラズマ乳酸菌飲料は、「iMUSE」ブランドの「機能性表示食品」としての新発売が寄与し、対前年で約 3.6 倍と大幅増となった。

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	91%

以上